

積極的に健康・体力づくりに励む子供の育成

大分県日田市立高瀬小学校

全校児童数	198名(男子 106名 女子 92名)		
全クラス数	9	教職員数	22名
体育専科教員訪問学校数			2校
訪問校	日田市立日隈小学校 日田市立三芳小学校		
体育専科教員名		岩崎 敬	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆体育授業の中で、実践を通じた自主回避行動力の育成(感染症・熱中症)

運動機会、条件の制限がされ、より工夫が必要となった。

◆健康・安全について知識について、子どもたちは先生に教えられよく理解しているが、その大切さをどのくらい理解しているかはわからない

知識としては理解しているが、子どもたちの行動が変容するほど理解されているか定かではない。教え込む教育から、アクティブラーナーを育てる教育へ。

◆昨年度の体力テストにおいて全国平均値を超える項目は平均並みで、まだ伸びる可能性がある。(44項目/96項目)

今年度から TT 体制の体育授業になり、きめ細かな体育の授業が可能となり、体力の向上も期待出来る。

2 取組の計画

- ① 保健授業の充実
 - ・より実践的な保健授業の展開
(食パンのカビ実験・校内の危険箇所マップの作製・アルコールパッチテスト・応急処置の実習など)
- ② 体育授業の充実
 - ・全児童に学習カード(ファイル)をつくり、すべての子に学びの履歴を可視化させるとともに、子どものつぶやきを拾っていく
(カード添削→指導案再考→授業→評価)
 - ・TT体制の充実(授業をしながらの情報共有)
 - ・互見による授業分析
- ③ その他
 - ・家族上体起こし週間の実施
 - ・情報発信(体育専科通信・学校HPに体育専科コーナーの設置)

Do：実践内容

1 保健授業の充実

- (1) 手を洗おう食パンのカビ実験
- (2) 窓を開けよう線香の煙実験
- (3) 校内安全マップの作成
- (4) 保健室の来室記録を使った安全教育
- (5) 知識構成型ジグソー法の導入

2 体育授業の充実

- (1) 体育倉庫の整理と衣替え
- (2) 一人ひとりの学習カード ポートフォリオ評価

- (3) 組み合わせ単元で 45 分 2 種目の授業
- (4) どの子も参加できる少人数多場の授業
- (5) そのまま運動会に使えたプログラミングダンス
- (6) マイラケットのダンボールテニス
- (7) 厳寒時も 8℃以下にならない体育館の工夫
- (8) 授業観を揃える「体育専科通信」
- (9) 完走コースと競走コースを選択させた持久走大会
- (10) 実習、記録者に分ける分析授業

2 その他

- (1) 学校ホームページから毎月の情報発信
- (2) OEN メールを利用した、県内の先生との教材研究
- (3) オンライン (Zoom) 研修や SNS を活用した全国の先生方との交流

●工夫したこと (&苦勞した点)

- ① 今までの保健の授業を振り返ると、知識の伝達が中心になっていたことに気づいた。今年度は with コロナの中で、子どもたちの行動が変わるような結果の間われる授業を作ろうとすると、それなりに準備に時間を要した。

Check：取組の成果

- ① 本校児童は元気で明るくよく遊び、休み時間に外に出て遊ぶ子どもがとても多いが、コロナに負けず、私たちがたくさんの笑顔に出会えた。情報を聞きつけたのか、ケーブルテレビの取材や大学の先生の授業視察があり、研究誌にも掲載された。
- ② これから求められる学校体育のあり方について勉強になったし、校内の先生方にも体育の必要観を感じてもらえたのではないかなと思う。

Action：今後の課題

- ① 今年の勤務は中規模校であり、全学年の児童、全職員に密接に関わることができた。
- ② 自分たちの実践は経験に頼ったものが多い。今後はエビデンスに基づいた研究も進めていきたい。

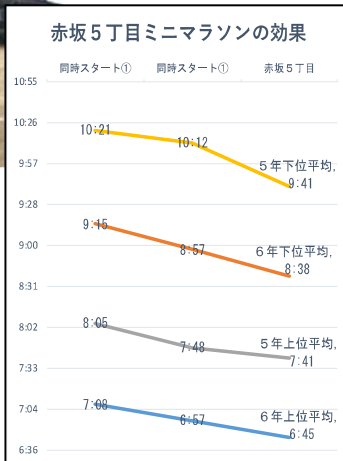
◎体力向上の取組がもたらす波及効果

体力数値は体育授業の副産物的と捉えており、まず保健の授業、体育の授業を充実させることを考えている。その努力の成果か、子どもたちは休み時間に感心するくらいよく遊ぶ。おかげで学校全体が笑顔と活気に満ち溢れている。

保健授業の充実



体育授業の充実



PLATFORM
体育授業のプラットフォーム
 第16回
体育専科教員の役割
 ——学校全体の体育授業を充実させる——

執筆/東京学芸大学准教授 佐藤善人 副読者/大阪府立国分寺高等学校 岩崎 敬

【連載】
「どの授業も、体育専科教員が活躍する」

「どの授業も、体育専科教員が活躍する」というのは、決して過言ではありません。むしろ、これは学校現場の実態を反映しているのです。多くの学校で、体育専科教員は、授業の質を高めるために、様々な工夫を凝らしています。その一つが、プラットフォームです。プラットフォームとは、授業のプラットフォームを指します。これは、授業の質を高めるための重要な要素です。プラットフォームを構築することで、授業の質を高めることができます。プラットフォームを構築するためには、様々な工夫が必要です。その一つが、プラットフォームの構築です。プラットフォームを構築することで、授業の質を高めることができます。プラットフォームを構築するためには、様々な工夫が必要です。その一つが、プラットフォームの構築です。